

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 6 年度第 3 回愛川町社会教育委員会議		
事務局 (担当課)		教育委員会 生涯学習課 内線 (3 6 4 2)		
開催日時		令和 7 年 2 月 2 0 日 (木) 1 5 時 0 0 分～1 7 時 0 0 分		
開催場所		文化会館 3 階 特別会議室		
出席者	委 員	7 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人 ()		
	事務局	9 人 (教育長、ほか 8 人)		
公開の可否		☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開	傍聴者数	0 人
非公開・一部公開の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 令和 6 年度生涯学習課事業について (2) 令和 6 年度スポーツ・文化振興課事業について (3) 補助事業について (4) 社会教育委員の活動について 4 閉 会		

審 議 経 過

(1 / 8)

主な内容は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

1 開会

2 あいさつ

＜萩原議長よりあいさつ＞

＜佐藤教育長よりあいさつ＞

3 議題

（1）令和6年度生涯学習課事業について

＜事務局から説明＞ 生涯学習課事業報告について

生涯学習学級・講座等事業報告について

○（委員A）7ページの地域学校協働活動推進員の会議について。毎月開催されているが、その結果はどうやって地域や学校に反映しているのか？自分は中学校のPTA会長をしていたが、耳に入ってきた記憶がない。

● 推進員のあいだでは情報共有できていると思われるが、その後のフィードバックというのは把握していないので、次回の会議の中で、どこまでフィードバックしているか把握したい。

（2）令和6年度スポーツ・文化振興課事業について

＜事務局から説明＞ スポーツ・文化振興課事業報告について

○（委員A）ふるさとまつり文化展について。これは、一般の方が何名くらい見に来られたか記録はあるのか。

● ふるさとまつり全体の来場者は把握しているが、文化展のみの数字はない。

○（委員A）郷土資料館の「あいかわ公園の自然観察教室」の参加数が延べ771人とあるが、これ

審 議 経 過

(2 / 8)

は町内か町外か。

- 自然観察教室は、基本的には毎月第4日曜日の1時から2時までのあいだに、町内で見られる生き物を飼育展示して自由に見ていただくもので、パークセンターの職員がカウントした数字。町内・町外というところの集計は取っていない。

○（委員B）できれば町外と町内と別々に集計があったほうがよい。

- 1人1人にどちらから来られたかは聞いていない。

- あいかわ公園では、自然観察教室の日ではないが、車で来られた方に、どちらから来られたかというアンケートは取っている。町外の方が多いという話は聞いている。

○（委員A）名前を書かなくても、印をつけられるようなものがあるとよい。

○（委員C）小田原のフラワーガーデンに行ったときに神奈川県地図があって、どこから来たかシールを貼るようになっていた。だいたいの把握をする意味ではそういったものでもよいのでは。

（3）補助事業について

○（委員D）三増獅子舞の保存会について、以前は愛川高校の方が授業の一環として体験していたと思うが、今は行われていない。活動を知ってもらい意味でもふるさとまつり等で披露するのも大事なのでは。

（4）社会教育委員の活動について

○（PTA連絡協議会）

ガーディアンズ（母親委員）で昨年の10月28日に研修視察として、横須賀の猿島に行って見学体験をしてきた。

11月7日には、神奈川県PTA連絡協議会の大会が茅ヶ崎であり、本町が活動研究報告をした。

審 議 経 過

(3 / 8)

鎌倉市からも報告あり。市の予算でセキュリティボリスを配置したとのこと。

3月1日には、町のPTA活動研究発表大会を開催する。子供も一緒に参加できる。昨日各学校に配付した活動研究報告の冊子についてはコロナ禍のときに始めた。この1冊で9校のことが分かるようになっている。好評で、県内でも真似をするところが出始めている。

○（婦人団体連絡協議会）

2月13日に神奈川県婦人団体連絡協議会の活動研究発表大会が開催された。近年は、高齢化や会員数の減少により活動の存続が難しく、県から脱退する地域が多く、現在の会員は、相模原市・厚木市・海老名市・愛川町・寒川町の5地区のみだが、今年度は海老名市が中心となって、海老名市文化会館で講演やアトラクションが行われた。来年度は愛川町での開催が決定しており、時期は11月ごろを予定している。詳細は未定だが、婦人会と県で協力しながら作り上げていきたい。

3月には、社協の出前講座で、エンディングノートの書き方などの講義を受ける予定。

今後も他地域の団体と協力して工夫しながら活動を継続していきたい。

○（子ども会連絡協議会）

11月9日（土）に町内の6小学校でレクリエーションを行った。参加者は、合計で1,707人。

このほか年間を通じて子供会の支援や、研修会や総会、役員会を開催している。

交流行事については2月15日（土）に農村環境改善センターで実施した。これまではバス旅行などを実施していたが、近い場所で町内の子どもたちが集まって遊んだりしたほうがよいのではないかという意見から計画したもの。ニュースポーツやマジック教室、お昼を挟んで午後にはドッチビーという遊びをして、子供も大人も保護者も楽しんだ。

○（青少年指導員連絡協議会）

審 議 経 過

(4 / 8)

青少年指導員協議会として1月12日に午前中は町一周駅伝に協力、午後は二十歳の集いに協力。

12月は、子ども110番の家の確認作業の時期で、今も作業を進めていただいている。

愛川ジュニアリーダーズクラブでは12月22日にジュニアフェスティバルあいかわこどものまちを開催。小学生、ジュニア、青少年指導員などあわせて130名が参加。花屋、消防士などの職業体験を行い、働いて得たお給料で税金を納め、残ったお金で買い物をした。また、ダムをつくり、発電した電気でクリスマスツリーの点灯式を行い、子どもたちの笑顔がたくさんみられた。

○（スポーツ推進委員連絡協議会）

11月23日に県の研修会が藤沢市であり、ワンバウンドふらばーるバレーボール、ファミリーバドミントンの体験をした。

12月14日には、相模原ブロックより招待を受け交流会に参加し、モルック、ピックルボールをやった。

1月12日は町一周駅伝で、主催側としてスポーツ推進委員として監察走路員の担当をした。

2月8日は県のスポーツ推進委員大会が川崎市で行われ、アトラクションとして富士通のチアリーディングの演技を見た。その後の表彰式では、愛川町から表彰者はなかったが、合計248名の方が県内で表彰された。3月15日に、恒例の広報誌を各ご家庭に配付する予定で準備している。

○（地区健全育成組織連絡協議会）

年2回の会議と青少年健全育成大会が主な事業。育成大会については1月26日（日）に開催した。

内容は、第1部で両向区と角田区による事例発表、第2部ではワークショップを行った。ワークショップは、県立青少年センターの狩野陽士さんを講師にお迎えして「みんなで取り組む地域の活動」をテーマに、地域のためにできることを皆で考え、普段接することのない地域の方とも交流で

審 議 経 過

(5 / 8)

き、貴重な時間となった。

○（文化協会）

10月19日（土）、20日（日）にふるさとまつり文化展・文化芸能発表会を開催。文化会館において盛大に開催することができた。

20日には、文化会館ホワイエで茶道協会のふるさと茶会、3階の大会議室1で将棋愛好会の将棋のつどいを行い、ホールで行われた文化芸能発表会では民謡協会、吟詠連盟などが発表を行った。

11月の第52回立科町文化展にはみなかみ短歌会が作品出展を行い、友好都市立科町の方々にご覧いただき、昨年度に引き続き相互での作品展示を行うことができた。今後も継続して、立科町の皆様と文化をとoshした交流活動を続けていきたい。

11月20日（水）には埼玉県の大宮、所沢方面への研修視察を行い、会員相互の親睦を深めることができた。

3月15日（土）には広報誌「文化協会だより第14号」を発行させていただく予定。

文化協会は、令和7年度で創立50周年を迎える。記念事業の実施に向けて会員一同が一致団結を図り計画を進めている。

○（スポーツ協会）

令和6年度は、山岳協会が会員数の減少により脱退。

10月の県民スポーツ月間には、町スポーツ推進委員連絡協議会とともに実行委員会を組織し、隔年事業の「あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」を10月13日に開催した。

「かながわアスリートネットワーク協働事業」として、元体操日本代表の小川泰弘さんの「トップアスリート体操教室」をはじめ、神奈川工科大の「eスポーツ体験」など、過去最多となる31種

審 議 経 過

(6 / 8)

目のスポーツ・レクリエーションを実施。体験した延べ人数についても、過去最多の約 6,000 人に上った。

今年 1 月 12 日には、「新町発足 70 周年記念 第 70 回愛川町一周駅伝競走大会」を、町内スポーツ団体、青少年団体とともに実行委員会を組織して開催した。元マラソン日本代表の加納由理さん、本町出身長距離ランナー・梶原有高選手をゲストランナーにお迎えし、大会に華を添えていただいた。IC チップによる記録計測業務を専門業者に委託し、大会の円滑な運営に寄与することができた。

強化育成委員会が運営するスポーツセミナーでは、1 月 26 日にバルセロナオリンピック・女子バドミントンダブルスに出場された森久子さんによる小学校初心者を対象としたバドミントン教室、先週の 2 月 15 日には東京 2020 パラリンピッククラス 11 女子シングルス銅メダリストの伊藤楨紀選手によるパラ卓球体験をかながわアスリートネットワークの協力を得て実施した。

各種目協会の活動においては、陸上、野球等の各協会が町総合体育大会を実施している。

スポーツ教室は、陸上、剣道等の各協会が実施、テニス、ゴルフ、スキーの各協会が立科町交流事業を実施した。

令和 7 年度に協会設立 50 周年を迎える。今後も様々な場面で町のスポーツ振興に貢献していきたい。

○ (委員 D)

2 月 4 日に大磯町で開催された地区研究発表会に参加した。その際、大磯町でがけ崩れがあったとき、避難生活の運営が、普段の地域のつながりが密だったのでとてもうまくいったという、よい話を聞いた。

審 議 経 過

(7 / 8)

いま、育成会や愛子連の理事をやっているが、子どもよりも、母親をいかに引き込むかというのが課題。今年度、3年生の保護者から、役員を強制されたと言われ、とても引かなかった。われわれ年配者よりも、身近な父親や母親が関わった方が、よりよい運営ができると思ったのだが残念。愛子連の交流行事は、今回は町内で開催したが、残念ながら子供たちは20名くらいしか参加がなかった。保護者も数名。実行委員として反省した。

スポーツでは盛んにいろんな大会をやられているので、これに乗ってジュニアリーダーとも一緒に大会のようなものが開催できれば、親がいなくても子供だけでも参加できるような、気楽な気持ちでいろいろなことに興味をもってくれたらいい。子供たちをいかに育てていくか、どれだけ愛川町を愛してくれるかというのを考えながら、これからも社会教育委員の一員としてやっていきたい。

○ (委員 E)

以前、小学校の校長をしていたが、地域学校協働活動推進員など、学校として地域に支えられ、相談できる場所がいっぱいあったなと改めて思い返したところ。PTAや推進員の方に、いつでも相談できた。逆に地域から、コロナ禍でできないことも、一緒にやっていきましょう、ともにやっていこうというかたちができたのも本当にありがたかったと思う。

いま幼稚園で勤務しているが、地域の方から立派な杵と臼をいただいた。実際にもちつきを経験したひとがどれだけいるかという中で、どうやって子供たちに経験させたらいいのか、小学校のときならPTA会長あるいは地域学校推進員など、地域の方を含めてやっていただろうなと改めて思った。

幸い今回は農協や地域の方にご協力いただきPTAも巻き込んで1月末にもちつきをした。子供

審 議 経 過

(8 / 8)

たちは、これがもちつきだということを、絵本では知っているが実際にやったことはなかった。特に保護者は、杵を持って力まかせにやろうとしていたが、杵の重さでつくといいと言われてやってみると、昔話のようないい音でもちがつけた。親世代も学ぶことができて、みんなで体験して楽しかった、またやりたいねと思える経験ができたことはありがたかった。愛川町ではいろいろと相談できる場所や繋がりが、組織としてできているところが強みだと思っている。親世代も育っていけるところが素敵だなと改めて思った。

4 閉会

＜本多副議長より

会長（委員長）
署名欄

萩原庸元